

日本史

(問題)

2015年度

〈2015 H27090015 (日本史)〉

注意事項

- 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- マーク解答用紙記入上の注意
 - 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

- 記述解答用紙記入上の注意
 - 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

- 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
- いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、下記の問1～8に答えよ。問1・2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～8については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

日本列島に生きた人々は、現実のさまざまな課題に直面して、法を作り続けてきた。その早期の例として有名なものは憲法十七条であるが、これは法というよりも官人の心得を述べたものと言える。しかも、現実には作成され、施行されたものは定かでない。また、^a「改新の詔」についても、どこまでが事実なのかは検討を要するであろう。

体系的な法として、はじめて施行されたことが確実なのは、689年に諸司へ配布された **A** である。^bそれからほぼ10年後、あたらしい年号制定とともに、^c令と律をともに備えて整備された法が^d発布され、施行された。その後、これを一部改修して757年に施行された法は、^e養老律令と呼ばれた。ところが、これ以後、体系的な法としての律令は編纂されることがなかった。

一方、689年から757年の間、数多くの単行法が個別に出された。たとえば、「聞くならく、墾田は養老七年の格によりて、限満つる後、例によりて収授す。是によりて農夫怠倦して、開ける地また荒る、と」^fと記した **B** は、そのひとつである。このような単行法は格や式と称されたが、これらを取捨選択し、また修正を加えながら編集された最初の編纂物が^e820年に撰進された。ただし、施行は10年後である。一方、^f833年には養老令の官撰注釈書も作られた。令や律をあらたに編纂するのではなく、既存の法体系に関する解釈が議論されたのである。

問1 **A** に該当する語句を漢字で記せ。

問2 **B** に該当する語句を漢字で記せ。

問3 下線部 a のなかで述べられていない文はどれか。

- ア 詔を承りては必ず謹め。
- イ 篤く三宝を敬へ。
- ウ 君をば則ち天とす。
- エ 臣をば則ち地とす。
- オ 威、四海に満ち、天下帰服す。

問4 下線部 b のなかで用いられていない語句をすべて選べ。

- ア 防人 イ 班田収授 ウ 五畿七道 エ 郡司 オ 国司 カ 評

問5 下線部 c についての説明で正しいものはどれか。

- ア 発布された時の天皇は持統天皇である。
- イ 令の施行は律の施行より早い。
- ウ 令は礼儀作法を詳細に説いたものである。
- エ 舍人親王が指揮して発布・施行された。
- オ 令よりも律のほうが後世によく伝えられた。

問6 下線部 d についての説明で誤っているものはどれか。

- ア 藤原不比等らによって編纂がすすめられた。
- イ 施行された時の年号を付して呼ばれている。
- ウ 施行は、孝謙天皇の時であった。
- エ 藤原仲麻呂の政権下で施行された。
- オ 刑部親王の死後、編纂がおこなわれた。

問7 下線部 e に該当する年号はどれか。

- ア 延暦 イ 大同 ウ 弘仁 エ 貞観 オ 延喜

問8 下線部 f の編纂代表者はだれか。

- ア 小野篁 イ 三善清行 ウ 清原夏野 エ 惟宗直本 オ 菅原道真

Ⅱ 次の文章を読み、下記の問1～9に答えよ。問8・9については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問1～7については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

歴史的に価値のある文化遺産として保全されてきたものの中には、近年、世界遺産（世界文化遺産）として登録されるものも増えてきた。そのうち、2006年に登録が決まった熊野三山・高野山や、2011年登録の平泉は、いずれも末法思想^aが広がる院政期の文化を象徴する地で、院・貴族から一般庶民に至るあらゆる階層の人々が憧れを抱いた「浄土」の地をこの世に体现しているとして、高く評価された。

とくに熊野の地は、熊野詣^bがさかんに行われたことでよく知られ、中でも白河・鳥羽・後白河上皇らによる参詣には、平忠盛・清盛^dらの武士や、受領層を中心とする院の近臣が多く随従した。また、北方との交易に基づく豊かな富を背景に、阿弥陀信仰による浄土を再現したと言われた平泉には、光堂・金色堂などとも呼ばれた Ⅰ や、広大優美な池を中心とする毛越寺の浄土庭園など、浄土教美術の秀作やその遺構が多数残されている。平泉は、都と北方地域を結びつける物流の拠点でもあり、その繁栄ぶりは京都に匹敵するとも言われている。^e

一方、2007年に登録された石見銀山は、大森銀山とも呼ばれ、 Ⅱ の商人が朝鮮半島などから導入した新しい製錬技術の普及に伴って、但馬生野銀山などと並んで多くの銀を産出した鉱山として知られる。16世紀の石見地方では、大内氏^fや戦国大名の尼子氏・毛利氏らが石見銀山の争奪戦を繰り広げたが、その産出量は当時、世界で産出される銀の3分の1を占めたとも言われ、南蛮貿易^gを通じて中国やヨーロッパへと輸出された。

問1 下線部 a についての説明として誤っているものはどれか。

- ア 釈迦の入滅後、千年を過ぎると、末法の世に入るとされた。
イ 正法の世の次は像法の世、その次が末法の世とされた。
ウ 日本では、永承7年（1052）から末法の世に入るとする説が有力であった。
エ 末法の世からの救済を願う願望が、浄土教の発達を促した。
オ 盗賊の横行や地方での争乱、疫病の流行は末法の世に入った証とされた。

問2 下線部 b についての説明として誤っているものはどれか。

- ア 阿弥陀や観音の浄土とされた熊野三山を巡礼した。
イ 白河・鳥羽・後白河・後鳥羽の4上皇が、合計100回近く参詣した。
ウ のちに武士・庶民の参詣が増えて、「蟻の熊野詣」と呼ばれた。
エ 藤原道長・頼通ら摂政・関白も繰返し参詣した。
オ 参詣に関する作法は、陰陽道や修験道の影響を強く受けていた。

問3 下線部 c の人物とその治世に関する説明として正しいものをすべて選べ。

- ア 娘である八条院に多くの荘園を伝えた。
- イ 後三条天皇に引き続いて荘園整理政策を積極的に推進した。
- ウ 寄進された荘園の認可を積極的に行った結果、荘園公領制が確立した。
- エ 知行国主が国司を兼ね、公領からの収入を院の経済基盤とする知行国制が定着した。
- オ 大寺社による強訴を排して寺社領荘園の削減に努めた。
- カ 自らの持仏堂である長講堂に多くの荘園を寄進した。
- キ 大寺社の所有する荘園に不輸・不入の権を認めてこれを保護した。

問4 I には寺院の名称が入るが、その寺院を創建した人物は誰か。

- ア 藤原泰衡 イ 藤原清衡 ウ 藤原基衡 エ 藤原秀郷 オ 藤原秀衡

問5 下線部 e に関連して、平泉の繁栄について正しく説明している文はどれか。

- ア 源頼朝に攻められた後も、鎌倉幕府の奥州総奉行が置かれ、大きく発展した。
- イ 鎮守府將軍であった安倍氏が建設した軍事拠点を発展させたものであった。
- ウ 砂金や良馬を産出して蓄えられた財力を背景に、多くの都の文物が移入された。
- エ 「加羅の御所」と考えられる柳之御所遺跡からは、中国産の高級陶磁器が多く出土した。
- オ 宇治平等院より一回り大きい無量光院が最初に建立された。

問6 II に該当する地名は何か。

- ア 兵庫 イ 山口 ウ 坊津 エ 博多 オ 鹿児島

問7 下線部 g についての説明として誤っているものはどれか。

- ア 最大の輸入品は中国産の生糸であった。
- イ 鉄砲・火薬などが戦国大名の求めに応じて輸入された。
- ウ 貿易の相手国はポルトガル・スペインが中心であった。
- エ 主要な貿易港は平戸・長崎・堺であった。
- オ 銀の他には刀剣や工芸品が輸出された。

問8 下線部 d によって復興造営され、平家納経が奉納された神社で、世界遺産にも登録されている神社は何か。漢字4字で記せ。

問9 下線部 f の一族のうち、尼子氏との間で銀山の争奪戦を繰り広げ、勘合貿易の独占により大きな富を得た人物で、大内版と呼ばれた經典の版行事業を行ったのは誰か。その人物の姓名を漢字で記せ。

Ⅲ 次の史料とその解説文を読み、下記の問1～10に答えよ。問1・2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～10については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

〈史料〉

…昔ハ在々^(注)ニ銭殊ノ外ニ払底ニテ、一切ノ物ヲ銭ニテハ買ハズ、皆米麦ニテ買タルコト、某田舎^aニテ覚タル事也。近年ノ様子ヲ聞合スルニ、元禄^bノ頃ヨリ田舎ヘモ銭行渡テ、銭ニテ物ヲ買コトニ成タリ。(中略)

…当時ハ旅宿ノ境界ナル故、金無テハナラヌ故、米ヲ売テ金ニシテ、商人ヨリ物ヲ買テ日月ヲ送ルコトナレバ、A^c主ト成テBハ客也。故ニ諸色ノ直段、武家ノ心儘ニナラヌ事也。武家皆知行所ニ住スルトキハ、米ヲ売ラズニ事スム故、商人米ヲホシガル事ナレバ、B主ト成テAハ客也。去バ諸色ノ直段ハ武家ノ心ママニナル事也。是皆古聖人ノ広大甚深ナル智恵ヨリ出タル万古不易ノ掟也。

(注) 在々：在所。いなか。

17世紀後半から18世紀初頭にかけての時代は、元和偃武^d以降の「太平の世」が長く続くなか、社会の様相が変化して、江戸幕府の政治体制もその転換点に立った時期にあたる。上の史料はその頃に成立したもので、幕府政治の現状とその問題点、ならびにそれを解決するための方策について、江戸中期を代表する儒学者が意見を述べ、将軍^eに献上した書の一節である。

史料中に「某田舎ニテ覚タル事也」とあるように、その儒学者は14歳のとき父の流罪のため一家で上総国へ移り、青年期の10年以上をその地で過ごした。彼はその農村暮らしのなかで、学問上の師もないまま乏しい書籍を精読することによって、のちに古文辞学派^fとして一門を形成するにいたる独自の学問の方法論を鍛えた。また民間の生活の実情を自ら見聞したことから現実政治にも関心を持ち、民間の目線に立ってこの政治改革論を著した。

この時代、史料の前半にあるように、農村まで貨幣経済が浸透しつつあった。背景としては、商品作物栽培が普及し、百姓に現金収入を得る道がもたらされたことなどが挙げられる。一方、史料の後半にあるように、高騰する諸物価^gを幕府が調整することが難しい状況になっていた。やがて、18世紀後半になると、幕藩体制の基礎である村と町が大きく変化しはじめる^h。また、史料のような政策提言は実行しがたいものであったので、貨幣経済に巻き込まれた武家の窮乏もより深刻になっていくのである。

問1 史料の出典は何か、その書名を漢字で答えよ。

問2 A と B に入る語を、史料中から見つけ出し、それぞれ漢字2字で答えよ。

問3 下線部 a の人物が開いた塾はどれか。

ア 古義堂 イ 護国塾 ウ 藤樹書院 エ 適塾 オ 咸宜園

問4 下線部 b の時代の出来事をすべて選べ。

ア 赤穂事件がおこった。 イ 富士山が大噴火をおこした。
ウ 松尾芭蕉が奥の細道の旅に出た。 エ 仮名手本忠臣蔵が初演された。
オ 由井正雪の乱がおこった。 カ 海舶互市新例が出された。

問5 下線部 c の説明として正しいものはどれか。

- ア 都市の民衆に湯治や寺社参詣などの旅が流行している状況
- イ 多数の民衆が伊勢神宮に参詣する御蔭参りが爆発的に起こる状況
- ウ 商品流通経済が発展して街道が物や人であふれる状況
- エ 武家が領地を離れて城下町に集住している状況
- オ 武家が江戸を離れて田舎に暮らしている状況

問6 下線部 d の説明として誤っているものはどれか。

- ア 徳川家康は方広寺の鐘銘に言いがかりをつけて、大坂冬の陣をおこした。
- イ 徳川家康は大坂夏の陣で、豊臣秀頼を攻め滅ぼした。
- ウ 3代将軍の家光以降は、外様大名の改易は行なわなかった。
- エ 大坂夏の陣と同年、幕府は一国一城令を出した。
- オ 大坂夏の陣と同年、幕府は大名統制の基本法として武家諸法度を出した。

問7 下線部 e が登用した人物をすべて選べ。

- ア 林信篤 イ 間部詮房 ウ 田中丘隅 エ 柳沢吉保 オ 大岡忠相 カ 荻原重秀

問8 下線部 f にあてはまる人物はどれか。

- ア 太宰春台 イ 伊藤東涯 ウ 熊沢蕃山 エ 山鹿素行 オ 山片蟠桃

問9 下線部 g と主産地の組み合わせとして誤っているものはどれか。

- ア 茶—山城 イ 藍玉—伊予 ウ 漆—会津 エ 青苧—越後 オ 蘭草—備後

問10 下線部 h の説明として誤っているものはどれか。

- ア 肥料代の値上がりなどで経営が苦しくなり、借金を返済できない百姓が増えた。
- イ 田畑を抵当にした金融により、村内外から田畑を取得し、質地地主となる者がでた。
- ウ 豪農と貧農・小作人のあいだで対立が深まり、村方騒動が各地で起こった。
- エ 田畑を手放した百姓は小作人になったほか、日用稼ぎに都市に出て暮らす者もでた。
- オ 領主による年貢の増徴や助郷役の拡大に対し、代表越訴型の一揆が多く起こった。

Ⅳ 次の文章を読み、問1～7に答えよ。問1～3は、解答を記述解答用紙に記入せよ。問4～7については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

日本における近代国家確立後の社会運動は、おおむね次の3期を中心にとらえることができる。Ⅰ．19世紀末～20世紀初年代。Ⅱ．1918年の米騒動後～1920年代中ごろ。Ⅲ．金融恐慌および昭和恐慌期。

Ⅰ．明治国家の諸制度が確立し、資本主義化が進行するなかで、19世紀末～20世紀初めに、貧民問題、公害問題、被差別部落問題などの社会問題が注目されるようになり、その改善・改革を求めて社会運動が起こった。労働組合運動、公害反対運動、小作争議、社会主義運動、a 娼婦運動などがそれである。さらに、日露戦争と戦後の軍拡は社会を疲弊させ、日露戦後には暴動・争議が頻発し、社会主義思想は急進化した。

Ⅱ．ロシア革命と第一次世界大戦後のデモクラシー思想の影響ならびに米騒動を機に、社会の 1 が唱えられるとともに、社会運動が高揚し、1920年代にかけて運動の組織化が進んだ。すなわち、労働組合運動の再編成をはじめとして、農民運動、部落解放運動、社会主義運動、知識人の運動、女性運動、学生運動、青年運動、住民運動などが展開され、それぞれに組織化が進んだのである。

Ⅲ．金融恐慌および昭和恐慌期には、企業の倒産・操業短縮によって大量の失業者が生じ、解雇・減給に対して労働争議が激増した。農村では農業恐慌によってb 農産物価格が暴落し、凶作に見舞われた東北農村では、娘の身売りや 2 児童が目立った。また、負債が累積するなかで、中小地主の小作料請求や土地取り上げに対して小作争議が激化する一方、農村救済請願運動が起こり、右翼的農民運動も目立つようになった。

問1 1 は当時の思潮を象徴することばであり、1919年には 1 社から 1 を誌名とする総合雑誌が創刊されている。適語を漢字で記せ。

問2 2 に適語を漢字で記入せよ。

問3 下線部 b のうち、価格が暴落し多くの農民に打撃を与えた主要農産物は米であるが、それに次ぐ主要農産物を漢字で記せ。

問4 下線部 a をリードした人物をすべて選べ。

ア 奥村五百子

イ 奥むめお

ウ 伊藤野枝

エ 矢島樗子

オ 河上肇

カ 山室軍平

問5 次のうち、Ⅱの時期に書かれた作品、刊行された図書はどれか。

ア 『蟹工船』

イ 「雨ニモマケズ」

ウ 『職工事情』

エ 『女工哀史』

オ 『山びこ学校』

カ 『あゝ野麦峠』

問6 次のうち、Ⅲの時期に起こった主な労働争議をすべて挙げよ。

ア 鐘淵紡績争議

イ 天満紡績争議

ウ 三菱・川崎両造船所の争議

エ 足尾銅山争議

オ 雨宮製糸争議

カ 東洋モスリン争議

問7 上記の文章に関する説明として誤っているものをすべて選べ。

- ア 足尾銅山鉍毒問題は、田中正造が国会でこの問題を取り上げたのを機に広く知られるようになり、1890年代から1900年代にかけて、被害地域の農民による反対運動が高まった。
- イ 1897年に発刊された『労働世界』では、「労働世界は労働者唯一の機関なり」、「労働世界の方針は社会の改良にして革命にあらず」と述べられている。
- ウ 1912年に15人の労働者によって共済・親睦団体として結成された友愛会は、1918年には支部120、会員3万人と称され、1919年の大会で日本労働総同盟と改称した。
- エ 普通選挙の実施を求める普選運動団体は、米騒動後に松本などで生まれ、1920年には全国普選連合会が結成された。
- オ 全国水平社創立大会は1922年3月3日、京都で開催されたが、その宣言は「全国に散在する我が特殊部落民よ団結せよ」に始まり、「水平社はかくして生まれた。人の世に熱あれ、人間に光りあれ」と結ばれている。
- カ 東北地方では農業恐慌に加えて、1934年には大凶作に見舞われ、東北農村の窮乏は深刻となった。

V 次のA～Eの文章を読んで、問1～4に答えよ。問1～3は、解答を記述解答用紙に記入せよ。問4については、その解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

- A 女性の解放と経済的自立を促す機関として、労働省に設置された婦人少年局の初代局長には、女性解放の理論家・運動家であった が就任した。
- B 戦前から続いてきた 制度は、占領期に名目上廃止されたが、実質的には業者の拘束のもとに管理売春として継続した。これに対して女性団体などの運動が高まり、管理売春を処罰する売春防止法が成立した。
- C 日本政府が国連の女子差別撤廃条約に署名し、その後批准に向けて、差別撤廃の法的な整備をする義務が生じ、 が制定された。
- D アメリカで始まったウーマン・リブの運動(women's liberation movement)は、日本でも起こり、男性の立場を基準とする両性のあり方や意識そのものを問う運動として展開され、衝撃を与えた。
- E 原水爆禁止運動が高まるなかで、「子どもを守る母親」という共通の思いから、さまざまな地域・職業・階層の女性たち2千人が集い、第1回日本母親大会が開催された。

問1 に該当する人物の氏名を漢字で記せ。

問2 に該当する語を漢字2字で記せ。

問3 に該当する法律名を漢字で記せ。

問4 A～Eを時代順に並べると、正しいものはどれか。

ア E→C→B→D→A

イ A→E→B→D→C

ウ B→A→E→D→C

エ D→A→B→E→C

オ C→E→A→B→D

[以下余白]